

第1学年B組 国語科指導案

指導者 佐藤 整

1 単元名 「不便」の価値を見つめ直す

2 本時の計画

(1) ねらい

具体事例について述べた段落内の文章構成を考察して、構成の工夫や筆者の意図について、根拠を明確にして考えをもつことができる。
(思考力・判断力・表現力等 Cエ)

(2) 学習過程 (本時 3 / 5)

過程	思考の流れと学習活動の流れ	時間	・指導の手立て ◇ICTの活用 評価
導入	<p>前時の学習を振り返り、本時の課題を設定する。</p> <p>【学習課題】 「不便益」を分かりやすく伝えるため筆者は具体的事例について、どのように構成を工夫しているだろうか？</p>	7	<p>・文章全体の構成や展開について学習した前時の振り返りを基に、本時の学習課題を設定する。</p> <p>◇本時では学習支援ソフト「SKYMENU」におけるアプリ「発表ノート」を主に使用する。</p> <p>・「順序性」を視点として導き出す。</p>
	<p>9段落の具体事例についてマトリクス表を並び替えて、構成の工夫を考える。</p>	8	<p>◇タブレットでシートを配付。マトリクス表を並び替え、9段落の事例について叙述の順序を考える。</p> <p>・教材文は9段落を削除した状態で配付している。</p> <p>・個で考えをもたせるために、10・11段落の構成を参考とするよう助言する。</p>
展開	<p>構成の工夫と効果、筆者の意図について話し合い、全体で共有する。</p>	20	<p>・「不便益」を最後に示す筆者の文章構成によって「どのような効果が期待できるか」という観点で話し合わせる。</p> <p>◇電子黒板に端末画面を投影し、グループでの話し合いを全体で共有する。</p>
	<p>筆者の文章構成の工夫と効果についてまとめる。</p>	10	<p>◇具体事例を簡略化した「頭括型」「尾括型」2例の文章を提示し、比較することで、生徒が気付いた構成の効果を実感的に確認する。</p>
整理	<p>自分が考えた構成と同じだ</p> <p>最後に不便益を述べている</p> <p>印象を強める効果がある</p> <p>学習を振り返る</p> <p>自分も同じ構成で文章を書いてみよう</p> <p>他にも同じ構成で書かれてある文章はないか</p> <p>もっと効果的な構成はないだろうか。</p>		<p>「印象」「強調」「インパクト」等と同意の語句を用いて構成の工夫と効果をまとめている。 (学習シート・発表)</p>
			<p>・今後の授業や実生活において、構成を意識して文章を読み書きできるような視点で振り返らせる。</p>

(3) 授業研究の視点

- ・展開でのICTの活用は、学習のねらいの達成に効果的だったか。
- ・個々の考えを伝え合い、学び合いの中で問題解決を図らせるための工夫や手立ては効果的であったか。

テストの項目・流れ	不具合やお気づきの点を書き込んでください。
<p>◎6校時終了時点で生徒1人1人がタブレットにログインした状態</p> <p>①各教室で教師機(担任)が授業開始 6クラス同時に授業開始ができるかを確認。</p> <p>②教師機での画面確認 生徒に発表ノートを起動させ、授業で使ったシートを1枚開かせる。 生徒の画面が教師機で閲覧できるかを確認する。</p> <p>③グループワークの確認 各学級の生活班でグループワーク (番号は生活班の番号、②のシートを表示したまま) 全員がグループワークに入れるかどうかを確認。→おそらく不具合 台数を各班3台に限定して行う。 a 全員グループワークを終わりにする。 b 3人を残して電源を切る。 c 3人で再チャレンジ。 d よければ4人目が参加</p> <p>④インターネットへの接続を確認 Google Chromeをタップ 各班ごとの検索キーワード 1班 能代市 2班 秋田県 3班 青森県 4班 岩手県 5班 山形県 6班 宮城県 1ページ目に出てきたどのサイトへアクセスしてもよしとする。</p> <p>⑤インターネットの動画視聴を確認 NHK for schoolに入り、どの動画でも構わないので視聴してみる。 見られない生徒が多いようであれば、台数を減らしてみる。</p>	

※最初の起動やログインの段階で不具合が生じた場合は、隣の生徒と1台で行うなどの配慮を。1つ1つに対応していてもテストにならないのでご協力をお願いします。その都度メモしておいてください。

タブレット端末使用のルール 能代第一中学校

～誰もが学習に専念できるよう、安全・安心な利用を心がけて～

1. 目的

能代市から貸し出されるタブレット端末は、学習活動のために使うことが目的です。必ず先生たちの指示や許可のもとで使用し、学習活動に関わる以外に使ってはけません。

タブレット端末の1人1台運用にあたって、次のルールや留意点をしっかり守るようにしてください。皆さん1人1人が責任をもってタブレットを使用し、管理することが求められます。

2. タブレット端末の使い方

- ・自分のタブレット端末を他人に貸したり、使わせたりしません。
(授業で先生から指示があった場合を除きます。)
- ・タブレット端末の破損を防ぐため、タブレットは必ず両手で持ち、持ったまま走ったり、地面に置いたりしないようにすること。
- ・無料、有料にかかわらず、あらゆるソフトのダウンロードはしないこと。
- ・原則、休み時間や放課後には使用しません。(ログインを除く)ただし、担当の先生が使用を認めた時は、部活動や生徒会活動でも使用できます。使用方法と時間、収納の見届けまでを確認して使用しましょう。

3. タブレット端末の使用時の注意点

- ・タブレット端末を使うときには、夢中になって時間を忘れたり、先生の指示や友だちの話しかけが聞こえなかったりすることがあります。話す、聞く、書く、読む、操作する、見るの切り替えをしっかりと行えるようになりましょう。

4. 保管・充電

- ・登校後、朝読書の前にキャビネットからタブレットを取り出し、教室の机の中へしまっておく。ログインについてはタブレットを使用する授業の前に済ませるようにしましょう。
- ・授業で先生から指示があった場合、または帰りの会前後にキャビネットに収納し、充電を行った状態で帰宅すること。白の電源ボタンが手前、上向きになるように収納してください。
- ・午前中に3時間以上タブレットを使用した場合は、昼休みに充電を行ってください。午後の授業でタブレットを使用しない場合は翌日まで充電したままで構いません。
- ・キャビネットから取り出したタブレットは、そのまま自分で管理してください。授業で使わないときは机の中にしまっておきましょう。特別教室で使わない場合は、そのまま自分の机の中に置いておくこと。また、キャビネットで充電しても構いません。出し入れの際は、ぶつけたり、落としたりしないよう丁寧に扱います。

例 2校時：数学で使用 3校時：体育で使わない場合は教室の机の中に置いていく

- ・タブレットとキーボードに同じ番号が記載されているかは随時確認してください。両方をあわせて自分の責任で管理すること。

5. 安全な使用

- ・インターネットへの接続には制限がかけられていますが、もしあやしいサイトに入ってしまったときは直ちにブラウザ(インターネットを見るためのアプリ)を閉じ、すぐに先生に知らせます。
- ・細かなルールは他者だけでなく、自分を守るためのものでもあります。法律違反や学習に関係のない使い方、不適切な使い方をしていないかを自分でも確認しましょう。

6. 個人情報や著作権など

- ・情報モラルを遵守すること。自分や他人の個人情報（ID、パスワード、名前や住所、電話番号、写真、動画など）をインターネット上に絶対にあげない、誹謗中傷などの書き込みをしない。誰かに一生の傷を負わせることになり、場合によっては警察に行くことにもなりかねません。
- ・インターネット上に自分に関するいやな書き込み等があった場合、すぐに先生に知らせてください。
- ・インターネット上の情報を調べ学習などに活用する場合、必ず引用の形をとり、どこから引用したかを明記するようにします。

7. カメラでの撮影や録音、動画等の再生

- ・授業で観察や実験、運動動作を撮影する場合や、発表の練習を行う場合などを除き、カメラは使いません。
- ・カメラで人物を撮影・録音するときは、勝手に撮らず、先生の監督のもと、撮影・録音する相手の許可をもらいます。校外に出ると撮影・録音が禁止されている場所もありますので、その施設等のルールに従い撮影しましょう。

8. データの保存

- ・データの保存については、先生の指示に従って指定された場所（フォルダ）に保存すること。サーバーの容量やタブレットのスペックには限界があるため、むやみに保存を行うとタブレットが機能しなくなります。

9. 設定の変更

- ・先生の指示なく、アプリをダウンロードしたり、アップデートしたり、ホーム画面を変えたり等、設定を変えたりしません。壁紙やアイコンの数、位置等の設定も変えないこと。
（明るさや配色などの関係で見えにくい場合は、先生に相談してください。）

10. 不具合や故障

- ・故障や破損、紛失、盗難があればすぐに先生に報告します。正しい使い方をしていての故障は学校で対応します。故意による破損やルール違反による故障については保護者に実費を弁済してもらうこととなります。修理は学校を通して行いますが、そうならないように大切に扱うことを心がけましょう。
- ・タブレット端末本体やインターネットが使えなくなって、再起動をしても元にもどらないときも、すぐに先生に知らせます。

11. 使用の制限

- ・上記ルールが守れないときには、皆さんの心身の安全を確実に守るために、タブレット端末の使用を個人、または全体として中止する場合があります。利用の実態にあわせてルールもその都度変わっていきます。